

APOLO Ver1.0リリースノート

このリリースノートは、APOLO Ver1.0導入についての注意事項などについて記載しています。

APOLOをご利用の際は、必ず内容の確認をお願いいたします。

また、これらの内容はユーザーのフィードバックを受けて更新されることがあります。

随時、最新情報をご確認ください。

最新情報は <https://www.idkcorp.com/apolo/> でご確認くださいませ。

1. 導入についての注意

■APOLO Ver1.0について

- ・APOLO Ver1.0は、ORCAと連携してお使いいただける診療支援システムです。
- ・WOLFの後継ソフトウェアであり、WOLF3.0.9.3のほぼ全機能を有します。
- ・ご購入前の30日間の試用が可能です。
- ・ソフトウェアはライセンス管理を行います。
- ・医師会様臨床検査結果データ配信サービス、パソラボクイック版には対応しておりません。

■製品版/移行版について

- ・製品版:DDL、WOLF1.0、WOLF2.0、WOLF-Vを運用中の環境向け
※WOLF3.0のインストールとデータ移行が必要です。
- ・移行版:WOLF3.0を運用中の環境向け

■動作環境 ※Windows7には対応しておりません

対応OS :Windows8.1 無印/Professional(32bit、64bit)

Windows10 Home/Pro(32bit、64bit)

メモリ : 4GB以上を推奨

ハードディスク : 使用可能ディスク領域5GB以上を推奨

ディスプレイ : 1024×768ドット(XGA)以上の解像度、TrueColor(32bit)

.NETバージョン : .NET Framework3.5以上

CD/DVD-ROMドライブ対応機種

2. インストールについて

APOLOインストールガイド(製品版/移行版)に沿ってインストールを行ってください。

3. APOLO Ver1.0の操作について(マニュアル)

APOLO Ver1.0の機能は、WOLF3.0.9.3とほぼ同等です。

WOLF3フォルダ内のWOLFのマニュアルを参照してください。

APOLO版のマニュアルは後日提供となります。

4. APOLO Ver1.0で追加された主な内容

- ・ODBC接続によるデータ更新処理の高速化を図りました。※WOLFの1.5～2倍

5. 不具合対応一覧

- ・帳票系の不具合を改修しました(診療情報提供書、訪問看護指示書、検査報告書)。